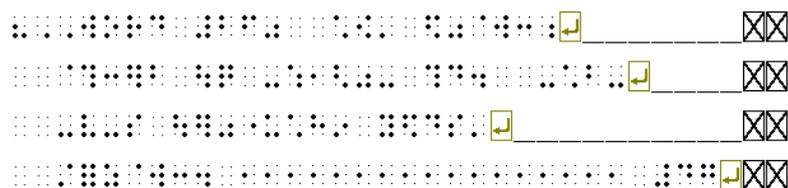
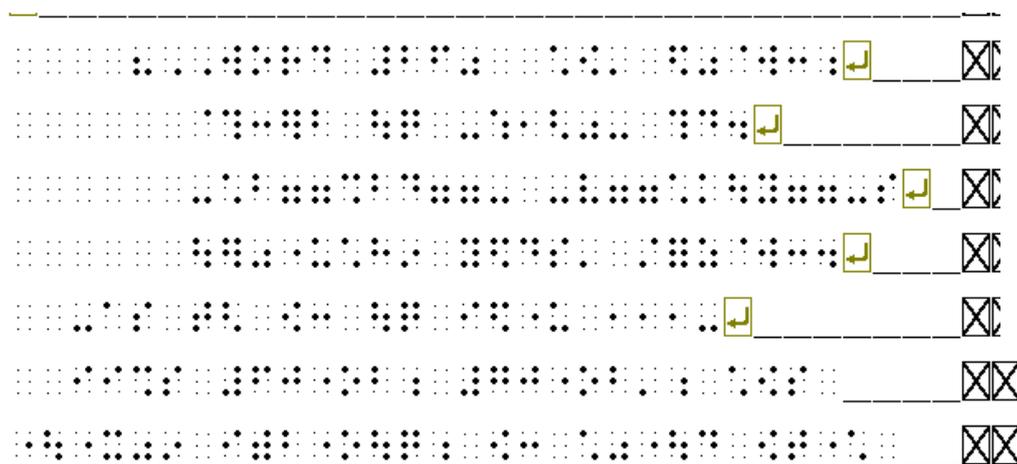


見出しに点訳挿入符で説明が必要となったものがあり、見出しの次行3マス目から点訳挿入符を入れました。その場合、目次はどのように書くのがよいのでしょうか。

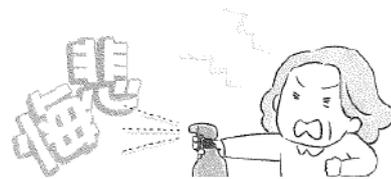
【A】
目次には、5マス目、あるいは7マス目、9マス目から書いた見出しだけを入れます。点訳挿入符の部分は目次には入れません。



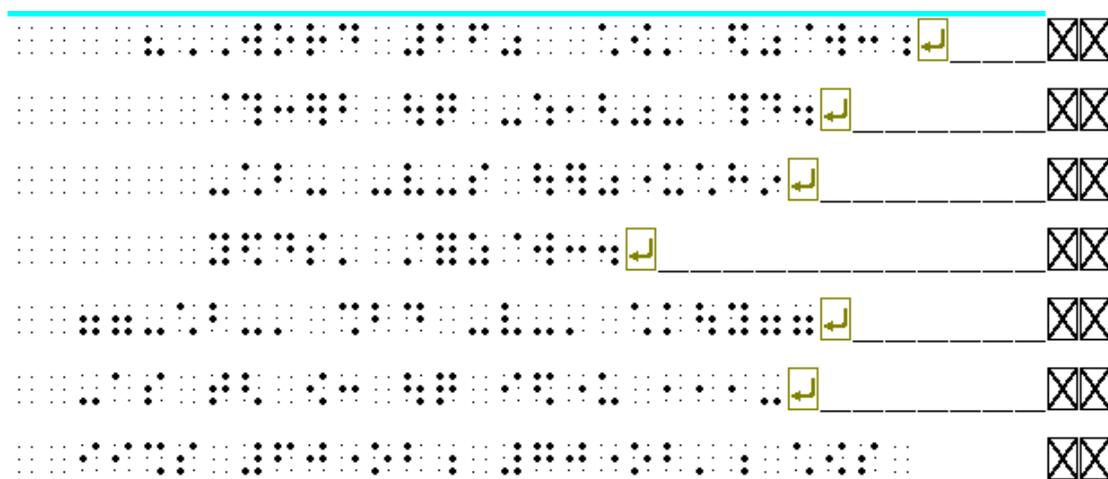
? 本文中の見出しに点訳挿入符



過去は検証、
修正して「殺菌」する。
「悔」「悲」の視線ばかりを
向けるのはやめましょう。



○本文中の見出しは見出しの次行3マス目から点訳挿入符をいれた



『点訳掲示板』より

12. p111 5. 点訳挿入符

見出しに、漢字を説明する点訳挿入符を添えてもよいですか。

【A】

見出しは目次にも掲載しますし、見出しに点訳挿入符で囲んだ説明があると長くなり煩雑になります。見出しのイメージも変わってしまうと思いますので、できるだけ点挿は入れない方がよいと思います。本文を読めば分かる場合は、必要ありませんし、どうしても必要な場合も、見出しが終わった後に行を替えて点挿を入れるなどの工夫をしたらどうでしょうか。

《Q71》

「朗朗介護」というタイトルの図書があります。「ローロー■カイゴ」と点訳した場合、老々介護と思う人がいると思います。しかし、表紙のタイトルや、見出しには点訳者挿入符を入れずに、本文に出てきた時に点訳者挿入符を入れるとボランティアの方から言われました。

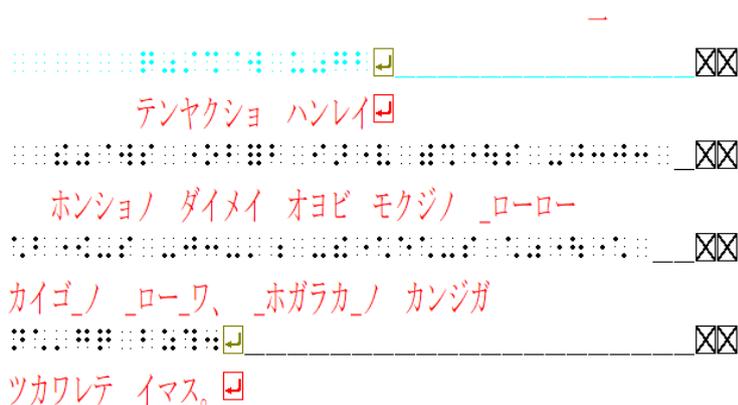
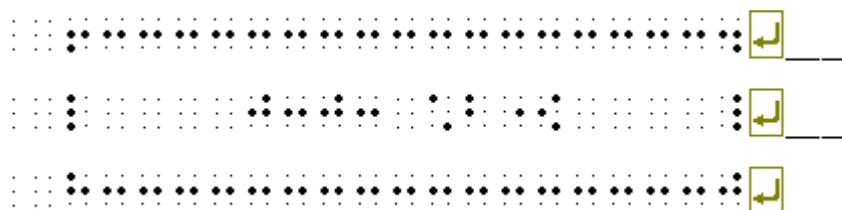
表紙のタイトルや見出しに点訳者挿入符を入れてはいけないのでしょうか？

《A》

表紙のタイトルや見出しに点訳者挿入符を入れてはいけないという規則はありませんが、できるだけ入れないで処理をした方がすっきりすると思います。そういう視点で見ると、読んだだけでは分からないと思われるタイトルや見出しは、意外と多いものです。人目を引くための文字遣いや表現、レイアウトが多くなされます。副題や書誌でわかったり、あるいは「？」と思いながら読む楽しさも含んでいるかもしれません。そのような観点から、表紙に点訳者挿入符を入れるのは、あまりお勧めしません。

もしどうしても説明を要すると思ったら、点訳書凡例で断ってもいいのかもしれませんが、その前に目次を読んで理解できるかもしれません。

点訳者挿入符は、できるだけ最低限必要な箇所に、コンパクトに入れることをお勧めします。



無色無受想行識

ム■シキ■ム■ジュ■ソー■ギョー■シキ■

無眼耳鼻舌身意

ム■ゲン■ニ■ビ■ゼツ■シン■イ■

無色声香味触法

ム■シキ■ショー■コー■ミ■ソク■ホー■

無眼界乃至無意識界

ム■ゲンカイ■ナイシ■ム■イシキカイ■

無無明亦無無明尽

ム■ムミョー■ヤク■ム■ムミョー■ジン■

乃至無老死 亦無老死尽

ナイシ■ム■ローシ■ヤク■ム■ローシ■ジン■

無苦集滅道 無智亦無得

ム■ク■シュー■メツ■ドー■ム■チ■ヤク■ム■トク■

以無所得故 菩提薩埵

イ■ム■ショ■トク■コ■ボダイ■サッタ■

依般若波羅蜜多故 心無罣礙

エ■ハンニャ■ハラミッタ■コ■シン■ム■ケイゲ■

無罣礙故 無有恐怖

ム■ケイゲ■コ■ム■ウ■クフ■

遠離一切顛倒夢想

オンリ■イッサイ■テンドー■ムソー■

究竟涅槃 三世諸仏

クキョー■ネハン■数3ゼ■ショブツ■

依般若波羅蜜多故

エ■ハンニャ■ハラミッタ■コ■

得阿耨多羅三藐三菩提

トク■アノク■タラ■数3ミヤク■数3ボダイ■

故知般若波羅蜜多 是大神呪

コ■チ■ハンニャ■ハラミッタ■ゼ■ダイジンシュ■

是大明呪 是無上呪

ゼ■ダイミョーシュ■ゼ■ムジョーシュ■

是無等等呪 能除一切苦

ゼ■ムトードーシュ■ノー■ジョー■イッサイ■ク■

眞實不虛 故説般若波羅蜜多呪

シンジツ■フコ■コ■セツ■ハンニャ■ハラミッタ■シュ■

即説呪曰 羯諦羯諦

ソク■セツ■シュ■ワツ■ギャテイ■ギャテイ■

波羅羯諦 波羅僧羯諦

ハラ■ギャテイ■ハラ■ソーギャテイ■

菩提薩婆訶 般若心經

ボジ■ソワカ■ハンニャ■シンギョー

